

Ⅱ 保育士キャリアアップモデル

「ふじのくに型保育士キャリアアップモデル」等について

1 国の動向

- 処遇改善のための新たな職制と研修を示した。平成 29 年 4 月 1 日から実施される予定であるが、詳細は示されていない。

要件等	副主任保育士	専門リーダー	職務分野別リーダー
処遇改善額（月）	4 万円		5 千円
経験年数	概ね 7 年以上		概ね 3 年以上
受講が必要とされる 研修分野	①～⑥のうち 3 分野以上 + ⑦マネジメント	①～⑥のうち 4 分野以上	①～⑥のうち 1 分野以上

- ① 乳児保育 ② 幼児教育 ③ 障害児保育 ④ 食育・アレルギー対応
 ⑤ 保健衛生・安全対策 ⑥ 保護者支援・子育て支援 ⑦ マネジメント
 ※研修の実施主体は都道府県。1 分野 15 時間程度。国は 2～3 日で受講を想定。

2 県の取組

(1) ふじのくに型保育士キャリアアップモデル(別紙 1)

国の処遇改善の動向を踏まえ、若手保育士の離職率が高い県の調査結果も反映し、国の想定よりも早い段階で研修の受講を開始できるよう、本県独自のキャリアアップモデルを作成。

(2) ふじのくに型保育士キャリアアップ評価基準(別紙 2)

既に評価基準を作成している先進的な法人の基準、県が介護職員の賃金水準向上のため作成したキャリアパス基準例、各社会福祉分野（看護、保健等）の専門職のキャリアアップの仕組みを参考に作成。

(3) ふじのくに型保育士キャリアアップに係る研修体系(別紙 3)

国が示した研修体系に県内の関係団体、市町等の研修の活用も想定し作成。

今後、国の動向やセミナー受講者（施設長等）からの意見を聞いた上で、有識者等による検討会議等で協議を重ね、より活用しやすい制度として整えていく。

3 今後のスケジュール（予定）

H29			
第 1 四半期	第 2～3 四半期		第 4 四半期
経営者セミナー	制度の見直し・構築	実践セミナー	
			